

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1458 号	氏名	磯 ふみ子
学位審査委員	主査	岩永 竜一郎	
	副査	大西 真由美	
	副査	神津 玲	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、発症後 1 週間以内の急性期脳梗塞患者における体幹制御、上肢機能が日常生活能力とどのように関係するかを明らかにしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 臨床場面で急性期の患者に使用できる体幹機能評価 (PASS) を試験的施行を経て慎重に選択し、日常生活能力や上肢機能の評価ツールについても標準化された信頼性が高いものを使用している。正規性の検定、相関、重回帰の分析においていずれも適切で妥当な分析が用いられている。サンプル数も十分であり、目的に沿った統計解析がなされており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 本研究結果において、発症後 1 週間以内の脳梗塞患者において、その体幹機能と日常生活能力が関連することが示され、体幹機能を早期に評価することの重要性が示されている。この研究が、今後の脳梗塞患者へのリハビリテーションアプローチとその研究の発展に寄与すると考えられた。</p> <p>以上のように本論文は脳梗塞患者の急性期からのリハビリテーションに関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			